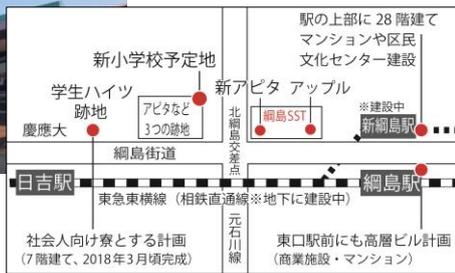


2015年7月創刊、月に60万ページ読まれている「地域インターネット新聞」のダイジェスト版です

ネットで注目の話題

<http://hiyosi.net>

日吉と綱島の風景が一変する巨大再開発の行方



2019年春の完成が予定されている相鉄・東急直通線の鉄道工事と同時に、日吉から綱島にかけて、綱島街道の各所で再開発が行われています。今年3月末に閉館した日吉台学生ハイツの跡地をはじめ、アピタ日吉店やNRI野村総研、日本興亜の巨大跡地では建物の取り壊しが進展中です。学生ハイツ跡は、7階建ての建物となり、企業の社員寮として活用されるとみられます。

アピタなどの跡地は約1000戸超といわれるマンションや新小学校などの建設が予定されています。2020年4月開校予定の新小学校は、箕輪町2丁目や綱島東4丁目が通学区の中心になるとみられます。

一方、綱島東4のパナソニック工場跡地は「綱島SST(サスティナブルスマートタウン)」との名が付けられ、今年12月には米アップルの研究施設ができ、来年9月ごろにも「アピタ横浜綱島店(仮称)」が開業。続いて100戸弱のエコマンションや慶應大学の学生寮も建てられます。

相鉄直通線の新駅となる新綱島駅(仮称)は、綱島駅東口から徒歩3分以内、かつて温泉施設の「東京園」があった付近の地下深くに設けられ、上部は28階建てのタワーマンションや商業施設、300人が収容できるホールなどを備えた「港北区民文化センター」も開設。さらに、東口駅前でも高層ビル計画が持ち上がっています。5年後、綱島街道の風景が大きく変わるとの期待が集まる一方、綱島街道の拡幅工事が具体化していないのは心配なところ。

ニュースダイジェスト

● 下田町の「サミット」が閉店

1971(昭和46)年以来、下田町の買物場所として親しまれてきた「サミット日吉店」が6月26日で閉店。下田町内で唯一のスーパーだっただけに惜しむ声と買物への不安が広がっています。

● 日吉の連合町内会に新会長

4つの街で約3万5000世帯・7万1500人の人口を擁する日吉。12の自治会・町内会をまとめる「日吉連合町内会」の会長に小島清さん(箕輪町町内会会長)が4月から就任しました。

全国でも珍しい巨大連合会であり、再開発で街の姿が変わるなかで、自治会・町内会の役割が大きくなりそうです。インターネット版にはインタビューを掲載。



箕輪町の小島清さん

● 日吉駅のホームが渋谷寄りへ移動

相鉄との相互直通線(新横浜方面)への分岐駅となる日吉駅では、工事にともない、ホームが渋谷寄りに移動となりました。まずは7月から目黒線の停止位置が渋谷寄りへずれたため、東横線からの乗り換え時には注意が必要です。今後、東横線でも停車位置が渋谷寄りへ移動する予定です。

防犯 街の安全

日吉と綱島 不審者続発



4月には日吉3丁目で悪質な路上強盗事件も

春ごろから日吉周辺では不審者の出没が連続発生。児童や生徒を中心に痴漢やつきまといなどの被害が出ています。覗きや下着盗難の被害も連続。インターネット版では、こうした犯罪を随時速報し、注意を喚起しています。

一方、春先に相次いだひったくり被害は、少年ら4人が逮捕されたことで止んでいます。引き続き夜道などでは注意が必要です。

ひ 発行者からお知らせ

昨年7月、日吉に在住する個人がブログとして始めた「横浜日吉新聞」ですが、月に60万ページが読まれるサイトとなり、最近では紙でも読みたい、との声を多数いただいています。このほど試験的に紙でも制作し、日吉と綱島の一部地域で配布しました。最新の記事は、ぜひインターネット版(<http://hiyosi.net>)をご覧ください。

【裏面もご覧ください】

ワンダーウォール横浜(WWY)

<http://hiyosi.net>

日吉で生演奏と料理を愉しむ、大人の空間 じわり浸透

東京都心に行かなくても、隠れ家的な雰囲気の中で、音楽の生演奏や料理を楽しめる場所が、日吉の「ワンダーウォール横浜(Wonder Wall Yokohama=WWY)」です。日吉駅西口から浜銀通り(バス通り)を歩いて3分、右手に見える「いずみ薬局」の地下1階にあるお店です。この7月で1周年を迎え、街に浸透しつつあります。



ワンダーウォール横浜のホームページ
(<http://wonderwall-yokohama.jp/>)

● 日吉出身の池田さんが開業

日吉で生まれ育った池田紳一郎さんが昨年の7月にオープンした同店。毎日夜18時からジャズやカントリーなどの音楽の生演奏と、シェフが振るうイタリアンをベースとした料理も楽しめる“大人の隠れ家”として、「リピーターの方を含めて、次第にお客様が増えてきました」と話します。



ワンダーウォール横浜代表の池田紳一郎さん。「日々、新しい音楽が楽しめる場を」と、営業日は毎日、生の演奏を提供

同店のモットーは「ローカル・ファースト」、つまり地域密着です。大手不動産会社や大手IT企業で社会人経験を積んだ池田さんは、「昔から音楽が好きだった」と管理職まで上り詰めた後に独立を決意。老舗ジャズレストランとして有名な港区六本木の「サテンドール」で店長も経験したのち、地元での出店に至ります。

「日吉で生まれ育ったので、この街で開業したいという思いがずっとありました。隠れ家的に楽しめる空間がなかったということもあり、大人の方がしっとりと、落ち着いた空間で寛ぐことができる、日吉の皆さんの居場所となれる店を作りたいです」。

● 1周年記念ライブやキッズライブも盛況

今月、1周年を迎えるにあたり、6月下旬から14日間連続で、バンド編成が主体となる特別ライブを連日開催。ジャズの一流ボーカリストはじめ、カントリーのバンドや日吉ゆかりのミュージシャンなど、「“すごい”実力派の豪華な布陣」(ボーカル・ピアニストの吉光寺智子さん談)が同店に集まり、満席の日や立ち見客が多数いる日もありました。家族で楽しめるキッズライブも好評を博しています。

● アーティストも響きと雰囲気絶賛

出演したアーティストは、「とにかく、音響がナチュラルで良い」(ボーカル・ピアニストの赤坂由香利さん)、「東京都内のジャズの名店に負けないくらいの雰囲気と音響」(ボーカル・ピアニストの小泉明子さん)と口を揃えます。そして、「真剣に音楽を聞いてくれ、私語も全くない」(吉光寺さん)という日吉の熱心な来場者が良好なライブ空間を創り出しています。「ここでしか見られない表情や声色を楽しんでいただけたと思います」(ボーカル・ピアニストの田口理恵さん)との声も。



● 食事目的での来店や貸切での利用も

2月には、イタリアンを中心とした料理を得意とするシェフが加わり、「食事目的での来店者が増えました。月替わりメニューも人気です」と池田さん。貸切パーティー利用も増えていきますとのこと(15名様以上:詳細はホームページ参照)。今月で2年目に突入したワンダーウォール横浜。日吉の街でどのような音楽シーンを創ってくれるのでしょうか。音楽好きには注目の存在です。

● ワンダーウォール横浜(WWY)

日吉2丁目6-6(浜銀通り)B1F

営業時間: 18:00~25:00 電話: 045-595-9967

E-mail: wwyoyaku@wonderwall-yokohama.jp

※日・祝休、臨時で日・祝営業時は、翌営業日休の場合あり



横浜日吉新聞のツイッター(@hiyosi_net)は3,500人のフォロワー、フェイスブックは「いいね！」が1,100を超えました

